

社会福祉士実習における受け入れ態勢として

社会福祉法人福角会

放課後等デイサービスみらい

「①個別支援計画の理解→②個別支援会議に出席→③利用者の決定→④自身の中で再度利用者像を認識→⑤自分なりの個別支援計画を作成→⑥個別支援計画の発表→⑦会議での意見を踏まえ修正→⑧実施→⑨モニタリング⇒⑩修正」という手順をとる。

下記のながれの赤字は実習指導者による講義形式をとります。講義の内容はそれ以後の自主的な動きに連動しています
下記のながれの青字は実習対象者による自主的な動きになります。事業所のパソコン・テキストの使用。記録類の閲覧等を行いつつ、課題を実践していく形となります。

実習13日目、22日目に個別支援会議の運営があります。2週目の個別支援会議を参考に、どうすすめていくかをイメージしておきましょう。

目的：職場実習 レジデンシャルソーシャルワーク（施設内におけるソーシャルワーカーの役割）を考える レジデンシャルソーシャルワークとは 社会福祉士としての職業倫理、施設の就業等に関する規定への理解 事業所の経営やサービス管理運営の実態 事業所が地域社会の中で担っている役割の理解と、事業所が地域社会に対して如何に働きかけていくべきかを探っていく 利用者理解と把握、個別支援計画の理解										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 6/5	(9:00)	施設概要 講義	休憩	放課後等デイサービスに ついて（自主⇒確認）	利用者理解 支援・送迎に同乗					地域の放課後等デイの数・各放課後等デイの特色を調べる⇒地域の福祉資源理解
2日目 6/6		記録 整理	契約書 講義	休憩	放課後等デイサービスの 課題（自主⇒確認）	利用者理解 支援・送迎に同乗				放課後等デイサービスを取り巻く課題の抽出 ガイドラインの理解 作業療法
3日目 6/8		記録 整理	事業計画	休憩	利用者理解 みなら特別支援学校に同乗	質疑 応答	記録 整理			運転手・保育士の動き理解（他職種理解）
4日目 6/9		個別支援計画 講義	休憩	質疑 応答	卒業後の進路 （自主⇒確認）	利用者理解 支援に参加	記録 整理			学校卒業後の進路についての理解
5日目 6/10	利用者理解 送迎に参加	総合科学博物 館イベント	休憩	総合科学博物 館イベント	質疑応答 希望確認	記録 整理				対象利用者の希望（案）を確認 施設開放イベントに参加

利用者理解とは 実際の現場に入り、職員の支援を見ながら、障がいの理解や利用者の様子を確認することで
また送迎等に同乗し、放課後等デイサービスの一日のながれを理解していきます。

1～2週目の事業所の見学は、相手先事業所の勤務体制により日が前後することがあります。

目的：職種実習 ・地域における施設の役割の理解（在宅サービスとの連携等） ・個別支援会議への理解・体験										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
6日目		利用者中心の支援	休憩		個別支援会議の準備			利用者理解	記録	
6/12		講義			プロフィール表・記録の閲覧			支援に参加	整理	
7日目		予備	個別支援会議	休憩	アセスメントシートの理解			利用者理解	記録	6日目までの利用者理解を通じ、アセスメント表に盛り込む項目を考える
6/13					アセスメント（仮）の作成			支援に参加	整理	
8日目		利用者決定		休憩	施設見学			利用者理解	記録	事業所見学（前後する可能性あり）
6/14					成人施設等			支援に参加	整理	生活介護事業所・グループホーム
9日目		行動障がい	休憩		アセスメント作成			利用者理解	記録	利用者理解の場面でアセスメントが正しいかの確認を実施
6/15		講義			サービス利用計画・記録の閲覧			支援に参加	整理	
10日目		アセスメント修正	休憩	中期反省会	在宅			利用者理解	記録	中期反省会で現在の進展を確認
6/19		記録の閲覧			講義			支援に参加	整理	

2週目のポイントとして、地域の中で福祉施設がどのような役割を担っているか、いわゆるレジデンショナルソーシャルワークとフィールドソーシャルワークとの違い、また連携を中心に学んでいきます。

また個別支援会議に臨席し、会議の流れや個別支援計画というものの理解を育むとともに、実際に自身が個別支援計画を作成する利用者の決定、またその利用者に対しての理解を深めていくことを目指します。

放課後等デイサービスというサービスの特性上、日々来る利用者さんは異なります

個別支援計画を作成する上で、下記の備考からどの利用者さんを選択するかを考えます

	月	火	水	木	金	備考
Aさん	○	○	○	○	○	利用者を以下のパターンから選択 ① Aさん ② Bさん + Cさん ③ Cさん + Dさん
Bさん	○		○		○	
Cさん		○		○		
Dさん			○		○	

目的：ソーシャルワーク実習（3週目以降）										
サービス管理者の業務についての理解（リスクマネジメント・事故報告・虐待事例等の分析）										
モニタリング・個別支援計画作成、修正 個別支援計画の実践										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
11日目 6/20		モニタリング作成	休憩		利用者理解 支援・送迎に同乗				記録 整理	モニタリング時不明な点は適時確認し つつ進める
12日目 6/21		個別支援計画作成	休憩		利用者理解 支援・送迎に同乗				記録 整理	個別支援計画作成時不明な点は適時確 認しつつ進める
13日目 6/22		予備	個別支 援会議	休憩	モニタリング・個別支援計画修正	利用者理解 支援に参加			記録 整理	
14日目 6/23		会議録作成	休憩		個別支援計画実践①				記録 整理	
15日目 6/26		リスク① 講義	休憩		個別支援計画実践②				記録 整理	リスクマネジメントの基本的な考え方 を学ぶ

目的：ソーシャルワーク実習（3週目以降）										
サービス管理者の業務についての理解（リスクマネジメント・事故報告・虐待事例等の分析）										
モニタリング・個別支援計画作成、修正 個別支援計画の実践										
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
16日目 6/28		実践報告	休憩		個別支援計画実践③				記録 整理	実践①～③の実践の結果をまとめる 助言をもとに実践④以降につなげる
17日目 6/29		リスク② 講義	休憩		個別支援計画実践④				記録 整理	リスクマネジメントの具体的な対応方 法を学ぶ
18日目 7/3		リスク例題	休憩		個別支援計画実践⑤				記録 整理	リスク例題については、例題の対応方法 について自身で考察を行う
19日目 7/5		実践振り返り	休憩		個別支援計画実践⑥				記録 整理	実践①～⑥の実践の結果をまとめる 助言をもとに実践⑥⑦、モニタリングへ
20日目 7/6		虐待・苦情等 講義	休憩		個別支援計画実践⑦				記録 整理	虐待防止への取り組み、苦情受付等に ついて学ぶ

事故報告、リスクマネジメントについては、概要の説明と共に、具体的な事例をケース案として討議する。

権利擁護、虐待等については、概要の説明と施設における事例より、虐待等に該当するかをも具体的に討議していく。

目的：ソーシャルワーク実習（3週目以降）

サービス管理者の業務についての理解（リスクマネジメント・事故報告・虐待事例等の分析）

モニタリング・個別支援計画作成、修正 個別支援計画の実践

	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
21日目 7/7		モニタリング作成	休憩		モニタリング・次期個別支援計画作成				記録 整理	
22日目 7/10		予備 個別支援会議	休憩		質疑・応答		ヒヤリハット報告作成		記録 整理	実習中にあったヒヤリハット事例をもとに対処策を考える
23日目 7/11		実習反省会 質疑応答	休憩			記録 整理		予備		